



私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所スタッフ一同

「クラフトビールとホップ」 代表取締役社長 洋一 氏より。クラフトビールの世界的なブームによってさらにその存在感が増しています。世界各国で品種改良が進み、今までにはなかった香りや苦み、味わいの演出に大きな役割を果たしています。そして、ここ岩手県もホップの栽培が盛んです。冷涼な気候を好むホップの栽培に適した土地柄であることが大きな要因ですが、クラフトブルワリーが多い岩手ではホップに注目されるが増えているように感じています。ベアレンも4年前の栗石工場建設にあたって地元農家の方々と栗石ホップチャレンジを立ち上げ、一緒にホップ栽培に取り組んできました。様々な製品に栗石産のホップを使用するようになってきました。また、昨今はとれたてのホップを生そのままビール造りに使う、フレッシュホップのビールにも注目が集まっています。いわば、ビールの又一りの存在のこのビールはみずみず



しいホップの風味をダイレクトに感じる事ができ、今後、季節感を感じるビールになっていくのではないのでしょうか。ベアレンでもいくつかの製品でこの夏に収穫したフレッシュホップを使ったビールが発売されます。どうぞ楽しみにしてみてください。

セッションラガーのホップ栽培に、どうかご支援を！ 支援者さま50名突破！ありがとうございます。 Shizukushi SESSION LAGER 栗石セッションラガー



各アカウント一覧はこちら↓



# リレーエッセイ

佐々木 義彦 | 総務部

「よ市」の顔となりつつある山本さんからバトンを受け取りました。総務部部長の佐々木です。今回は数ある趣味の中から「ブルーインパルス」を紹介したいと思

います。 2014年9月に花巻空港開港50周年記念として



石巻の空に描かれた五輪マーク

初めて見るアクロバティックな飛行に度肝を抜かれたことを今でも覚えてます。 2017年前職の関係で宮城県石巻市に転勤、担当地区も東松島市と「ブルーインパルス」が毎日のように爆音をあげて訓練で飛んでいる、私にとっては夢のような街です。(地元の人にはただの騒音とい

ます)しかも、その年から震災後初の一般無料開放の「松島基地航空祭」が開催されるとあって妻と一緒に翌年は娘も一緒に観に行き

ました。爆音の中、巧みな飛行を見ると気分爽快です。 石巻には4年間おりましたが、その間に東京オリンピックがあり、本番ではきれいに見えなかった五輪マークも基地上空訓練で見ることができました。

# 今月の新製品

藤村 美花 | 営業部流通課



夏だ！海だ！ベアレンの限定ビール「イーハートの海」発売だー！ ということで、7月発売の限定ビール「イーハートの海」の発売です。 この商品は、日本財団による、きれいな海を守ろうという取り組み「海と日本プロジェクト」にベアレンも賛同し、海にちなんで企画したビールです。

実はこの限定ビール、ビールでは珍しいあるものが入っています。それは、三陸・野田村の海塩「のだ塩」です！ 塩と聞くとしょっぱいかなと思いますが、気づかないくらい(いわれませんが、気づかないかも?)のほんのりみねる感！ピルスナーのすっきりした口当たりや海塩感をほかに感じる爽やかな味わいです。暑い夏の水分補給にぜひ、飲んでみてください！



# 編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

【大募集中】 「わたしとベアレン」の投稿記事を募集しております！ ベアレンの思い出やみなさんが思うベアレンの魅力など、30文字程度で投稿いただき、ベアレンニュースに掲載します！採用された方には「ベアレンビール3本」セットをプレゼント！みなさんのご応募お待ちしております！

今月の一枚 岩手県「木づかい宣言」事業者登録者交付式 岩手県「木づかい宣言」事業者登録者交付式 岩手県「木づかい宣言」事業者登録者交付式



# 代表就任記念講演会・祝賀会を開催しました

5月20日、創業時より代表取締役を務めた木村が退任し、**畠田**へと代表のバトンが渡されました。この発表を聞いて、驚かれた方も多いのではないのでしょうか。

新体制となり1月半が経った7月4日、日頃よりお世話になっている関係者のみなさまに感謝の気持ちをお伝えする場として、「代表取締役社長就任記念講演会及び祝賀会」を盛岡グランドホテルにて開催いたしました。約2年間、コロナの影響により大きなイベントが出来なかったことから、久しぶりのイベントでスタツフ一同気合十分！とほいそ今回の講演会や祝賀会のよさをフオーマルなイベントには慣れてい



お花をたくさんいただきました！

ない形べく、どきどきペアレンのしぎを出せるかアイデアを出し合いながら準備しました。

第一部の講演会では、代表取締役社長に就任した**畠田**より、ペアレンを設立するまでの経緯や創業時からの思いなどお話しさせていただきました。



講演会にて自身の思いを語る畠田

第部の祝賀会では、ご出席いただいたみなさまに日頃の感謝を込めて、盛岡グランドホテルさんのおいしいお料理とともにペアレンビールでおもてなしさせていただきました。ペアレンのイベントには欠かせない Zndada ORCHESTRA のみなさんによる生演奏で会場を盛り上げていただきました！



講演会会場の様子

ペアレンでは創業時から地域密着を掲げ、地元岩手に根ざしたビール文化の醸成に取り組んできました。材木町市への出店やビール会の開催、ビール祭りの実施などを通して、スタツフとお客さま、さらにはお客さま同士のコミュニケーションを構築し、その輪を広げていきました。ペアレンが目指す将来の展望として、岩手県内のみならず、日本全国、さらには海外へと共感の輪を広げていき、ペアレンをきっかけに岩手に多くの人が訪れる人流を作り、地域の活性化につなげていきたいと考えています。今後ともペアレン醸造所をよろしく願っています！

# わたしとペアレン

投稿者 | 久留島太郎さま

23年前に結婚をして、岩手県栗石町が第二の故郷になりました。盛岡の材木町で仕事の先輩に大きなジョッキに入ったクラシックをご馳走してもらい、それからクラシックの虜になりました。それからは、帰省の度には土産に必ずペアレンビールを買って帰りました。

最近では現在住んでいる千葉でもペアレンビールが手に入りやすくなり、コロナ禍で帰省ができない中ですが、岩手山を思い浮かべながら栗石町で作られたペアレンビールを飲んでいきます。

自宅の部屋には復興特別ラベルが貼られたクラシックの瓶があります。クラシックに込められたペアレンビールの岩手県への思いを今もありがたく感じています。これからも岩手から世界へ素敵なビールを！

※応募QRコードより記事をご応募いただけます。みなさまの投稿お待ちしております。



応募QRコード

# レストラン便り

町屋 太望 | ビアベースペアレン盛岡駅前

皆さまこんにちは、ビアベースペアレン盛岡駅前店の町屋です。駅前店がオープンして早二年、フエアを通じていろいろな食材や、生産者に出会うことができました。7月10日、昨年開催した大榎シビエフエアに出会った大榎のMOMMYを見学させて頂きました。ハンター兼代表の兼沢幸男さんとはこれまでSNSや電話でのやり取りのみで実際にお会いしたのは今回が初めてでしたが、きさくで会話も弾み、親しみやすい方でした。話題が鹿狩りになると一転して真剣な眼差しに。鹿に対する熱い思いを感じました。農家にとって害獣とされている鹿は、ハンターに処分されたのち、その肉のほとんどが捨てられているとのこと。岩手に鹿肉を精肉として加工できる工場がない中、命を無駄にしたくないという思いで「から会社を設立しよう」と。肉だけでなく、骨や皮も余すことなく、雑貨品に加工すること。現在の工場は、プレハブを改良した形ですが、来年、その規模を拡張し、同敷地内に大きな工場を建設予定とのことでした。工場見学後、盛岡の飲食店関係者を駅前店にお招きし、工場ではさばいてもらった鹿肉を食べ

る会を開催。大榎の鹿肉を初めて食べるという方も多く、興味をもってもらえることができたのではないかと思います。鹿肉は癖があり、少し硬いという印象ですが、大榎MOMMYの鹿肉は癖も少なく、肉質が柔らかく脂肪の少ない短角牛に近いような味わいです。ストレスを感じさせず仕留めることで味わえる鹿肉本来の味を皆様にもぜひ食べていただきたいです。なお、昨年に引き続き10月に大榎シビエフエアを開催予定です。食材だけではなく、生産者の方の思いも一緒に伝えていきたいと思います。もっと伝えたいことはありますが、気になった方はぜひお声がけください。今月もペアレン3店ともよろしくお願いたします。



# 働き方改革推進チーム活動報告

菅原 聡子 | 総務部

暑い夏をむかえ繁忙期真っ只中のペアレン醸造所・・・とある日、出荷が集中したこともあり、より良い働き方を推進すべく今回のミーティングはショートバージョンにしました。今日これだけは、とテーマに選んだのは「勤務間インターバル」についての確認です。これは一日の勤務終了後、翌日の勤務開始までに少なくとも11時間(当社規定)の継続した休息をとるというもの。

たとえば遠方でのイベント等で営業部スタッフの業務が22時までかかった場合、翌日は始業時刻を9時以降にしないといけない(11時間の休憩時間を確保)という具合です。工場でも製造部スタッフが機械トラブルのため対応に追われることがあり得ます。この制度で休息をしっかり確保し、「熱い」季節を駆け抜けます！ミーティングは以上でしたが、セミナーにZoom参加したスタッフは、Teamでレポートを



男女共同参画フェス・基調講演に参加した2人

共有してくれました。その内容は男女共同参画に関するもので、先駆的な取り組みもある中、共感するものは多いと実感しました。ペアレンらしく活かしてまいります。

ペアレンでは、生産性の向上・両立支援を軸とした職場環境の改善など2017年より本格的に働き方改革に取り組んできました。その内容を評価いただき、これまでに「いわて働き方改革AWARD 2019 最優秀賞」の受賞や「いわて女性活躍企業等(入選)」の認定を受けています。今後も誰もが働きやすい職場を目指して今後も引き続き働き方改革に取り組んでまいります。